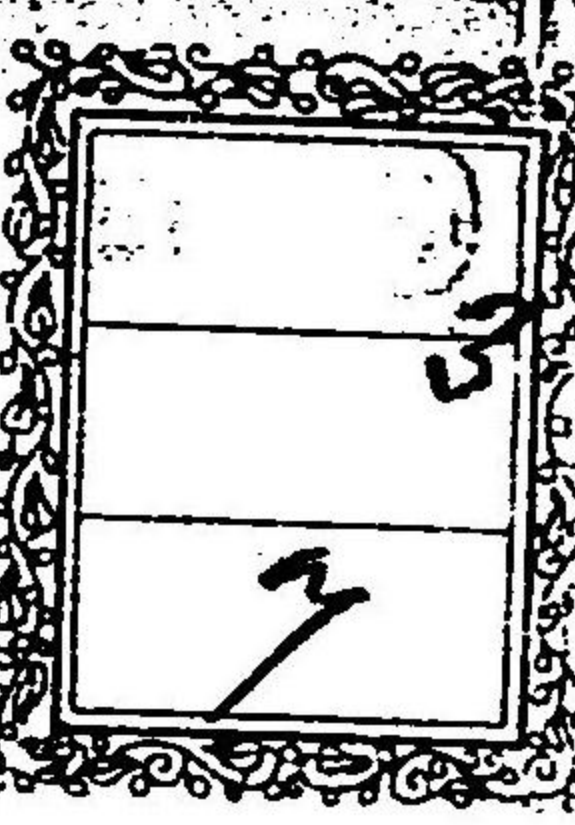


21-21



明治三十四年八月發行

尋常  
小學單級修身訓字解  
全

東京  
金港堂書籍株式會社

尋常小學單級修身訓字解

甲篇卷二

第三課

るがね キンノゼニ。オ  
ーゴンノゼニ

第四課

こばん カム

第六課

す テンジョーナドニツイ  
テキルクロイゴミ

す はき

す ハ  
オトス  
コト

第七課

べんき よー  
ヲル

第八課

し ゆ  
つ  
ぜ

ミ  
ブン  
ノ  
ヨ  
ク  
ナル  
コト

第十一課

びん ぼー

ク  
セ  
モ  
ノ  
ナ  
ド  
キ  
モ  
ノ  
ナ  
ド

ノ タ  
リ  
ナ  
ク  
テ  
ナ  
ン  
ギ  
ナ  
コ  
ト

第十二課

なん じ  
ゆー  
ナ  
ン  
ギ  
ナ  
コ  
ト

第十三

課

ど て  
ぶ  
し  
ん  
ク  
ド  
テ  
ヲ  
ツ  
ク  
ル  
コ  
ト

第十四課

あれ ち  
マ  
ン

尋常小學單級修身訓字解



ニハツカハレヌヨトニ  
ワルクナツテキルトチ

をぢ

オヤノアニモオト  
トモをぢトイフ

第十七課

す

みどひや

スミノウリカヒノ  
セワヲスルウチ

しゆじん

テイシユ。ダン  
ナ。アルジ

第十

九課

しんるい

第二十六課

せんぞノイハ

第二十七課

あやふい

間

たくは

へ

タメ

甲篇卷三

第一課

をさなき時

孝行

はなはだ

外に出づる時

ヨソニユ  
クトキ

其のよし

必ず

父母物をたまへば

父母ガ物ヲジブ  
ンニクダサレバ

つゝしみて

受け

大切

ながく失はず

イツマデモ  
ナクセス

めしつかひのもの

父母

の事に及べば

居なほりて

カラダノヨース  
ヲチヤントナホ

聞く小刀

用見れば

父母のきづつか

んことをおそれて

父母ガケガヲシハセ  
ヌカトキヅカウテ

速かに取り

をさむ

第二課

やゝ長じて

別

後

父母につかふ

父母ノタメニコハロヤ  
カラダヲツカフコト

朝夕

みまひて アサパンキゲ おこたらず ナマケヌ。ユ 月 ツキ

花 ハナ 我が方 カタ 心 ココロ 身 ミ 病身 ビョウシン わづらふ

ビョーキ いたむる ナヤマス。 よーじよーをつし

カラダヲタイジニス なほおきてまみえ ソレデモヤハリ

病氣 ビョウキ 如何 イカ に ドウアルカ 只 ただ 安 ヤス し ガヨイ 失 ウ せ

けり ダシ 第三課 ことわざ 人 ヒト の ヘイゼイ こと コト わざ クイフコトバ 我 ワガ が

身 ミ を ツ め り て ヒト の イ た さ を 知 れ つめるトハユピサ

ブルコト。人ノツメラレテキルノヲミテモ、ソレガドノクラキイタイトイフコトハ、ジ  
ブンニツメラレタオボエガナクテハワカラヌ。ケレド、ジブンデジブンヲツメテ

ミレバスグワカルコトハジブンノカラダヲ  
ツメテミテ、人ノイタサノホドヲシレトイフコト まこと ホント に ニ 仕 シ

ニモドナ 人 ヒト に マツル 交 マツル る アヒスル かり チヨト そ デモ め ト に カ も ト 仕 シ

向 ム く シカ かく カウ て ツテ 恩 オン む カ く サウ い ヘ ん サウ 第 ダイ

四課 オヨ 凡 オヨ そ 一タイ。ゼンタ 事 コト を イ ら ヒ せ ヒ ふ 事ニツイテ

ル 無益 ムエキ の タヌコト 事 コト ひ ヒ と ヒ へ ツニ に ツニ 己 ミ が ガ ぎ ガ よ ガ ー

じ ジ よ ジ ー ミモチ かし エライ こ コ き コ 人 ヒト さ サ す サ れ サ ば

レサウス は ハ ら ラ 立 タ た タ し タ し タ き タ 事 コト お オ の ノ づ ヅ か カ ら ラ せ

トン 第五課 ウ 生 ウ ま マ る マ 父 ウシナ を ウシナ 失 ウシナ ふ 父ヲナクスル。 くら

しがたし ミヲヤシナウテユキニクイ。 さる學者 ガクシヤ 先 アルモ

生 セイ 學問 ガクモン 道 ミチ のり ミチノ トホサ ミチノ さるに ソレデア 毎朝 マイチヨ

頃 コロ 長き道 ナガミチ かち フネ、クルマナドニノラ 風雨 フウウ 決し ケツ

て 第六課 トシ 年のくれ 一年ノ あらたに コンド、ハ

先生 先生ノ のもと トコロ あやまつて オモハズ。 夕方見 ユフカタ

とがむ 見テトガ ひたすら ヅニ 之 コレ を聞き キ いさ

かむとがむべきにあらず トガメラレルコトデハナ

第七課 ムカシ 昔 ナダカ 名高き先生 ヨノナカニ名ノヨ 九

歳 サイ 手習 テナラヒ 日課 ニツクワ 晝 ハル 夜 ヨル 冬 フユ 課業 クワギヨ の

いまだはてざるに ワリアテラレタシゴト 机 ツクエ 學 マナ び

はたされたり ケイコシスマ 夜分 ヤブン あらかじめ マ

手桶 テナケ 來れば キタ 第八課 イタクなんじゆ

ししたる時 ヒドクナン 師 シ 大名 ダイミ 仕 ツカヘ

望 ノゾ み 第九課 かなりや スバメホドノ 猫 ネコ みは

り バンヲシテ 室内 ミツナイ ふと ナシノキ 第十課 召

す ヨビヨ 矢 ヤ 度 タビ こゝにおいて デソコ さとす イヒ

兄弟キヨイガイ 強くツヨク 然らざればシカ 汝等ナンザラ 互タガヒ

に 家をたもつイヘ いましむマチガヒノ

第十一課 農家ノイカ 幼き時チサノ 似ニ

かひぐしくゲンキヨク、イ 家業カギヨ 酒サケ

たしむ酒ヲコ 賣りウ 買ひカ おもるオモク 終ツヒ

第十二課 一家イカ しばタキモノニス たき

ぎ 賃チンセン 得ウ 一心イツシン

夜を日ヒにつぎて 夜ヒルを日ヒルにカラヨルニカケテ。

かせぐハタ さてマヘノトチガフコトヲハナシダサウトス つひや

其ソの中ウチのウチ幾ク分ブンをニホドカラ つひや

さずツカ たくはへ置オくオク 不フ時ジの用ヨウにあ

て 不幸フコウの人ヒトにニほドこス

何ニよリのタのシみニ 第十三課

村ムラ どてぶしんドテヲツ 子供コドモながらニもル

ぶやくカミヨリイヒツケラ 夜半ヨナ 翌朝アシタ 持モ

ち行くモツテ 小チさく 力チカラ足ヲらズ 一ヒト人ヒト前マエのシ仕シ

尋常小學校練習身訓守則

事も出来ずゴト アタリマヘ一人ブン 皆様ミナサマ かうむるルキ

少からざればスクナ スクナク ナイノデ せめてコレバカリハ 持参しチサン

たりモツテマキ リマシタ 感じ合へりカン ア シンシタ 第十四課

をぢオヤノキヨイダ イノ人ヲイフ 養はるることとなりぬヤシナハ

油多く費ゆればとてさし止められたツヒ

再びフタタ 始めハジ 毎夜マイヨ すでに人の寝しづまネ

るに及びてモハヤ人ハミナ寝テシヅカニ 不用フヨイ ヤクニ 荒地コリチ

つみてイクネン 第十五課 古堀フルイ 年も餘ヨ

程長ホドチヨ ぜられたりトシヨハヒモヨホドタケテキラッシ いと

まをこふヒマヲ 久しぶりヒサ 歸るカヘ いたくあれ

てヒドクナル 屋根ヤネ 家やうやくゆたかになり家ノ

出世シユツセ 役人ヤクニン 終られけりチハ

第十六課 居處キドコロ なにとぞトウ 食物シヨクモツ

こふネガ ざりとは、御身オンミ には、夏の長ナツナガ 間アヒダ を

尋常小學單級修身訓字解

何ナニをして居キられしぞ ソレダト、マー、オマヘサンハ、アノ夏

問トふ 答コトふ ふきげんなるかほつき ノワル

御身ミミのうゑ死シにするをよそに見ミんも イカホ

心ココロならねば此コノのたびにかぎりて、まゐらす ツキ

べし オマヘサンガウエジニスルノヲカマハヌコトニシテ居 **第十七**

課 **上野次第**に おちぶる ミブンノヒドク **壮年** ソノネン

ことコトに ベツ 往イき 身ミを立タつ ミブンニナル あ

さサまマしシきキすスがガた ナサケナイ 郷里キョウリ ウマレタトチ から

うウじジて ヤットノコトデ。 **炭問屋** 炭アキンドノシイレノ **奉公** ホウコウ

人ヒトノウチウチニニツ カハレルコト **早く起キき** ハヤキ **ほね身ミををししままず** カラダヲ

トトライライヤ **衣服** イフク **粗末** ソマツ **第十八課** **給金** キョウキン ホー

人ヒトナドナドニニタタカカヲヲキキメメテテ、**じたい** ルコトハ **唯** タビ **すたれ物** ニタク

ナナツツタタ物モノ **集アツめ** **主人** シユジン **十年ジュウネンばかりへて** 十年

リリ立タ **期限** キゲン **高タカヨヨリ** **富有** フユウ ブゲン

**第十九課** **力チカラをを用モチふ** ホネヲ **勉強** ベンキョウ **ほとん**

とト十ジュウ年ネンばバかカり チヨット十年ホド。オホカタ十年ホド。十年マデ **た**



えて門外に出でざりき モンケワイ トント、モンヨリソトへハ出ナカツ

第二十課 近所 キンウヨ チカク。 ちあひの井 キ チイ

物音 モノオト オト 直に タチ ニ 共に トモ 先生をわ シ

づらはす程の事にあらず ホド 先生ニメンドーヲカケル ホドノコトデハゴザラヌ そ

れがし セツシヤ ワタクシ。 皆様ばかりを勞せんは甚だ ミナサマ ロー

快からず コイロ 皆様バカリホネヲラセルトイ 第二十一課 寄 ヨ

り合ひ ア シヨ モン 書物 シヨ モン ざろん ヨイ、ワルイ、トタガ ヒニイヒアフコト 初の程 ハツメ メノ

正し タ ツ ウ 正 物言ひ モノイヒ 思はず オモ ともすれば ドウカ

あざける 人ヲバカニシテ、イヂワル クイフコト、ヒヤカス。 しじゆー ハジメカラヲハ リマデ、イツモ

行儀をみださず ギョーギ ギョーギ クツサヌ ふるまひ シワザ。 シウチ。 は

ぢて ハヅカシク オモウテ 感服 カンブク イチゴンモナイトジユー ブンニカンシンスルコト 第二十二

課 盜賊 トイソク ビス おびやかす オド カス 金 カネ 故 ユエ キ モノ 著物を

取らすべし キモノヲ ヤラウ さるにて ソレニ シテモ 平生 ヘイセイ セイ ス

なほち スルト。 マ、スグニ。 ソノ しばしとおしと チヨツト、 オマチナ

問ひ返す トヒ カヘ 問ハレテ、マタコチ ラカラ問フコト 人の行ふべき オコナ

道 ミチ 人ガ行ハネバナ ラヌスヂノコト 第二十三課 妻 ツマ 夫 シウと、 妻ノ 父

又夫ノ しろとめ 妻ノ母。又 夫ノ母。

召使 なたけをか

る ヒトノミノウヘヲオモヒヤリテ、ソノ 人ノタメニナルコトヲシテヤルコト

常に フダシ。ヘ 儉約 物ヲム ヤミニ

ツヒヤサ ヌコト さらに イツコーニ。 スコシモ。

秀で レスグ 手業 テサキデ スルコト 善

くし ニスル

金銭 先祖 ハジメテ家ヲ オコシタ人

子供の仕付

子供ニ物ヲヲ シヘコムコト

仕おち ヌケメ。 オチド。

第二十四課 柔和を

むねとすべし ニューワラダイイチトコ 〆ロガケネバナラヌ

人にへりくだ

る 人ニムイテ、ジブンヲソノ人ヨ リモシタトシテ、物ヲスルコト

おとり高ぶる 人ニ向ヒテ、ジ ブンヲソノ人ヨ

リウハダントオモ ウテ物ヲスルコト

徳 ヨイコ 〆ロエ

敬ふ タイセツ ニオモフ

かねて マヘモ ッテ

算用 カンジ

裁縫 キモノナドヲシタテ ルコト、ヌヒモノ

料理 タベモノヲコ シラヘルコト 等

心得居て キテ

手紙

遣り取り

仕立 來客

ウチニ キタ人

もてなし アシリモチ。 アシラヒ。

一切 ナニモカ モミナ

家事 ノコト

善くをさむ ヌマクシマ ッヲツケン

第二十五課

共同衛生

トモドモニヨ

様 萬事 ノコト

仕方 次の如し

ニカイテアル トホリデア

便所 セツキン。 ハバカリ。

下水 ツカッタアトノミツ フナガシステルミゾ

其の

他 ソノ

内外 ウチト

道路 チミ

池川

傳染病 ヲツルビ

ヤクビヨ、ハ ヤリヤマヒ。

役所

届け出づ

病人

近邊

消

毒ドク スコト なほざり スコト **第二十六課** 世ノ人

伊勢イセ ノナ **大神宮** テノ **天皇陛下** トイフコト **天**

照大神テラスオホカミ をまつり奉れる宮 **大廟** マウ **申す** タ **田畑**

作ツクる ジン **人民** ハセテイフコトバシモ **御手づか**

皇國コウコク タマフコノクニ **御恩** オメグミ。オナサケ。

**第二十七課** **清國** シナノ **戦ふ** コト **載**

仁親王ニシンノ **御出陣** イクサニオイ **處** マサ **正に** チヨ **本**

陣ジン オモノ **使者** ヒツカ **役目** ユクメ **右軍** ミギゼイ **おもむく**

間近マヅカ く寄りて コチラトムカウトノアヒダイクラモ **物と**

もせず ナントモ **勇む** キノハヤルコト。ゲ **全軍の將士**

ふるひ戦ふ ゲンキヲダシテ **大勝利** ダイシヨリ

**第二十八課** **兩親** フタオヤ **祖母** ソボ **菓子** クワシ **五**

厘リン **引き** **軍用金** にたてまつる イクサニツカフカネニ

其の志ココロ をよみす ソノコハロガケ **そこばくを**

足して ナニホド **郡役所** ヤクシヨムラヤクシヨノウヘノヤクシヨ

納む サシダシウケ **トツテモラフ**

尋常小學單級修身訓字解

乙篇卷二

第一課

じこく キト

第二課

なほく マヘヨリ  
ヒトキハ

第四課

へいぜい ンダ

めしつかひ ウチニヤシナツ  
テツカフモノ

シモ なついで ナジンデソノヒトヲ  
ヨイヒトトオモヒテ

しよーぢき ウソイツハ  
リヲイハヌ

第五課

こんきよく ヨクシン  
ボーシン

第六課

うま

かた ウマヲヒイテ  
アルクヒト

くら ウマノセニ  
セテオクモノ

第八課

さきと

いけ キキ  
イレ ゐすわりて ソコニキテウ  
ゴカナイデ

第九課

こゝ

ろづかれました キガツキ  
ナサツタ

そまつ イワル

つかひこ

なされました ツカヒナラ  
シナサレタ

第十課

きもおもく

なつて キガオモウナツテ。モノヲシタクナク  
ナルコトヲきがおもくなるトイフ。

第十一課

さし

づ イヒ  
ツケ 第十二課

そまつにしましたから ホム

一ニツカ ツタカラ 第十三課

れいぎさほー ヒトヲテイネイニ  
スルシカタノコト

こゝろえて シッテ  
キテ

第十四課

みさをまも

りて ニドヲットヲモ  
ツナドセヌコト

第十八課

くらしてをる イノ  
チイ

キヲシテキル イキ  
テヒヲタテテユク。

第十九課

よーじよー カラダヲ  
シユスルコト

第二十課

あやまる ソビフ  
イフ

第二十二課

の

りあひぶね ナカマノチガフヒトタチ こーしやく ホンノイ

ハナシキカ セルコト 第二十三課 けんじゆつ カタナラツ 第

二十四課 こーとく ヨノナカノミナノヒトニ いけん

ソレハヨクナイトイ フテキヲツケルコト 第二十六課 いさをし ラテガ 第

二十七課 おきて キマリ 第二十八課 てき

イクサノ アヒテ

乙篇卷三

第一課 およそ ゼンタイ 時を守る キメテオイタジコ

ルヲス ガツ 學校 いふまでもなし レテラル たとひ シ

ヤ ガノレミツガ 己自らさだめたる時なりとも ジブンジシンニキ

モ ハナハ 甚だ ドヨホ かならず トキツ 第二課 先生 センセイ モノシ

ツトンデイ フコトバ 國 農家 ヒヤクシヨ 生まれ チサナ 幼き頃 コロ チヒサイ

いとかしこくて ヨホドリ 父母 フボ 教 カセ 九歳 クサイ

遠國なる祖父 トホイクニ そだち ダンダンフトツテユク

うやまふ ダイジニスル 何事 ナニゴト 心 ココロ 武士 サム あと

をつぐ カトクヲソゾクスルコト 武藝 ブゲイ 習は ナラ

れ ガクモン 學問 心をよす コハロラ 或る時 ダイカ 大學 シユイ 修

身書 シンシ 深く感じ カン 善き教 カ 必ず カ 身に行 ガコナ

ふ ワザニ 第三課 年 トシ ついで ヒキツ 何れも モ祖

父 トイフコト 終に ツヒ 其のかひなかりしゆゑ トウトウカ

一方 ヒ ならざりき ナミタイテイ 役 ヤ 程 ホド もな

く ハモ ナク ふるさと ウマレタトコ 限 リミ なかりき ドノクラキ

是 コレ 母を思ふ カモ 安んずル アンズル ますく切 セツ にな

り ダンダンヒ 度々 タビタビ 暇 イマ 許 ユル され ユル 後 ノチ 第四課 未 イマ

た イヘ 家 トシ 年老いたる フケタ めしつかひ イヘノホ

男 オトコ なさけをかける メニナルコトヲシテヤルコト

常に ツネニ よく仕へた ツカ さて アラタメテコトヲイ

いとまを取らす ヒマヲ そこば

くの セニ 錢 ノゼニ 多年 タネン のほねをりをねぎらは

れたり ナン年モナン年モナガイアヒダ ともなはれ行かん

然るべからず サウイフツケニハユカ さとす ヒ

ぜんかたなし ガナイ なみだながら ナク 第

五課

友人

トモ

子

物

おぼえ

物ヲオボ  
エルコト

書物

句

コトバノ  
一キレ

凡そ二三百遍

オホカタ二三百タビ  
ザツト二三百タビ

おぼえ得

ぬ程なりき

オボエルコトガデキヌクラキ、ソ  
ノクラキ物オボエガワルカシタ

其の父への

ざりを思ひて

了佐ノ父ハワガ友人ダカラ、ワレハソノ人ニシンセツヲ  
セネバナラヌ、了佐ヲヨク教ヘテヤルノハソノ父ヘノシ

ンセツニアタルカラツトメネバナラヌト、カ  
ウ了佐ノ父ヘノギリノコトヲカンガヘテ

うまず、たゆまず  
アキ  
モセ

ズ、キラユル  
メモセズ

ねんごろ

テイ  
ネイ

志

オモヒ  
イレ

年をつみて  
クイ

年モタ  
チテ

成業

シゴトヲ  
シアゲル

第六課

正直

コ、ロノスグイコト。イ  
ツハリヲイハズ、ワルイ

コトヲセ  
ヌコト

馬方

馬ヲヒイテアルクゴトヲ  
シゴトニスル人。マゴ

乗せて

他に行く

ユソニ  
ユク

夕方

くら

馬ノセニノセテ、人ヤ  
ニモツノザトスルモノ

財布

カネヲイレ  
ルフクロ

見

れば

おびたゞしき金子

タイソ  
ナカネ

一方ならず

ヒトトホ  
リテナイ

さだめて

いひつゝ

イヒナガラ  
イフテ

返し

たり受けず

禮

なほしきりにしひたれど

もソレデモ、マダ、シキリニゼ  
ヒノトス、メタケレド

第七課

慾

犬

且

ウソノ  
か

ろはづみ  
アトサキノコトヲヨクカンガヘナ  
イデ、ウカノコトヲスルコト

うばふ  
トリア  
デル

す

なはち

いましむ

彼の

然らざれ

ば  
ナイト

物の分別をあやまりて

モノゴトノミツ  
ケヲマチガヘテ

第

八課

聞きて

人となり

ガヒト

直に行きて

スダニユ

弟子

人カラ物ヲヲシヘラル、人ヲヲシフル人ニムキアハセテイフコトバ

然るに

トコロガ

私

師

センセイ

ことわられたるを

コトワラ

思ひ止

居

イツタンドウセウトオモツテマ

居ずわる

一トコロニキテ、ホカヘズコシモウゴカヌコト

聞きとよく

キ、イ

様々力を盡す

イロクセ

恩に

むくいる

恩ニカヘシラスル、恩ヲカヘス

第九課

身體

ダカラ

立ち

居

タツコトトキルコトトイフコ、ロデ、スベテミヲウゴカヌコトニナル

自在

オモヒドホリニナルコト

事あ

る日

イクサナドイフタイヘンナコトノアルトキ

よろひを著

カダナ

モ

是身

あんらく

らくトイフトオナジコト

ことさら

ワザト。ワザク

食ひ

夜書

弓

かり

夜分庭

木刀

木デツクツタ

つとめて

シニクイコトヲキラハゲマシテスルコト

第十課

蜜壺

ハチミツヲイ

ルツボ

蠅

砂糖屋

むらがり來て

ヨリアツマツテキテ

した

か

去らん

足

氣は重くなり

ナニゴトモシタクナイヨ

ガ重イトイフ

飛ぶ

養生

カラダヲダイジニスルコト

甚た害あり

ヨホドサ

マタゲ

ことはざ

人ノヘイゼイヨクイフコトバヲコトワザトイフ

病は口より入

る

第一

第十



一課 牛門前 通る 呼び 我 となた

其の代り 松 先の言葉 読む となた

由 いなむ 約束 読む となた

そーいなくば 之を取らすべし 松ヲヤル

第十二課 昔 大名 平生 そばつか

こより 状態 状態 二オクルト

ふーずる 彼の 兩はし 多く

あまして 切り 片はし 兩度 たび

一度の用に止めたるは心なきわざなり

さよーの心得にては

身をもちくづす 今より善く心

を用ひよ 第十三課 兄復習 忘

れ成長して 讀みて 物にあかるく

文も歌も たくみにつくる 字

れいぎさほー かくー 學藝 ンヤゲ

向ひ いたく へりくだりて

ニシテトリア  
ツガフコト

知らず顔

ホツキシラヌフリ  
ホツキシラヌフリ

第十四課

長じて  
ツマノ母又

妻

しうと

ツマノ父又

しうとめ

ツマノ母又

事へ

ウヘノ人ノタメニコト

ヤカラダラツカフコト

夫

大切

物事

に明るく

才もたけたれば

善

善

家事を治む

ヨクイヘノコト

若かりければ

み

さを守りて

タツシキミモチヲクツサヌヨニスルコトヲみさをトイフ  
コノクハソノみさをヲウシナハヌヨニスルトイフコト

第十五課

浦島太郎

人に對して

ニンゲン

も

ちろん  
イフマデモノナイ  
ハズトシレテキル

鳥獸虫魚

忘る

鳥獸の

類すら  
トリヤケモノノ  
ヨナモノサヘ

此の心をもてるものあり

と見えて

ナサケノコ、ロヲモツテ  
キルモノガアルラシク

古今其のためしす

くなからず

ムカシニモ、イマニモトリケモノガナサ  
ケヲカケタコトガラガスクナクナイ

第十六

課 親切

人ノタメヲオモウテ  
ヨクセワスルコト

心ざま

コハロガラ

至って

村 近邊

ケイシヨク

景色

モヨロ

極めて

き處  
ケツコロ  
ナトコロ

外國

クニ

をりく

遊び

親

使に往き

西洋婦人

ニホンヨリニシノホ  
ノクニヲナンナ

たよりよ

き  
ツゴイ  
ノヨイ

ともなひ行く

ユク

あつく禮をのべ

たり ジューブンニ **第十七課** シヨウガク **小學校** シンチク **新築** シクタラ

重 ハモ **相談** ソウタン **費用** ヒヨウ **決せざりき** キマラナ

召使 メシツカヒ **ほのかに** ウスルク **様子** ヨウジ **日頃** ヒゴロ **銀** ギン

是 コレ **惜しげ** ヨシム **寄附** キフ **立どころに** スグ **第十八課**

心ばへ ココロ **立どころに** スグ **たんどじよー日** ウアレ

天長節 テンチョウセツ **今上天皇** イマノノテンシ **のぞませられて** オイデ

當る ヤタ **天皇陛下** テンノウヘイカ **のぞませられて** オイデ

軍隊の操練を見 テ **を例とす** レイ

クワンバイシキ **觀兵式** **軍事のゆるかせにすべ**

カン **からざるをおぼされての御事** イクサノコトハナホザ

ワレ **我等** ジンミン **人民** クニウチノ人々ヲキミニタ **幸** サイハヒ

オノゾミ **申すもかしこき事ど**

オノゾミ **もなり** **皇國の民たるものは**

オノゾミ **誰** **御壽の長久ならんことを**

オノゾミ **いのり** **かたじけなし**

シヤ **謝す** **誰か** **ざらんや** **第**

十九課 學者ガクシヤシリモノ 讀ヨクみ書カきを習ナラひ始ハツめ 勉ベン強キヨ

生來イライ ホネヲウマレテカラ。 ヲル 病身ビヨウシン ヨワイ 次第シダイ ダン すこ

やかタツ シヤ 學問ガクもいちじるしく進スみたり ガクモ

京都キョウト 上ノホりて 修行シユキョウ ケイ 命メイぜらるる や

業成ギョウナりて シゴトガデ 晝夜チュイヤ ヨル やうや

くおもりて ダンクオ 醫者イシヤ 見ミかざる ミス うれ

ふる シンバ 大方オホカタならず ヒトトホ さまぐく心を

くだきて イロク 治療方チリョウホウ ナホシ ちよーごー

進スむ サシア いえぬ ヨクナ 儒書ジュショ シナノ

佛書ブツショ ホトケノ 佛敎ブツキョウ ホトケノ 讀ヨクむ

に及オび ヨマナイデ 其の言コト 兄ノコ 第二十一課

むねのひろき人 人ガジブンニフツゴナコトヲシタトキナ 不フ

在サイの間 アヒダ 塾生ジュクセイ ウチニモノヲナラ 下男ゲナン イヘニツカハレ

あやまりて ワザトデナイコ いたく愛アイす ヒドクダイ 折チ

主人シユジン ダンナ とりなし 事ヲヨイヨニト 待マち

て わび入イる ジューブンニコトワリヲ 笑ワラひながら ワラツ

尋常小學單級修身訓字解

ワラフ 樂しむ オモシロクオモフ 怒る ハラハラタテル 更に イツコロトンスコシモ

第二十二課 一とせ ヒトアル 國許 クニモトニソホク 途中 トチユ

カナ 船 フネ 同船 ドイセン 他人 タヒト 此 コノ 程なく ハツ 始めたるを マモナク 始めたるを クラシハジメタガ 互に タガヒ 互に ドチラカラモ

なと フネヲトメルニツ 著き ツ 別るる時 ワカ 互に タガヒ 互に ドチラカラモ

姓名 セイメイ つけ ツ つけ ツ あいさつ アイサツ 急 イツ

かねて マヘカラ 大學者 ダイガクシヤ 名 ナ のる ノ 急 イツ

ふるまひ マヘカラ あいさつ アイサツ 急 イツ

ぎ 第二十三課 近江 アフミ 渡舟 ワタシブネ 乗合 ノリアヒ の

人々 ヒト 劍術 ケンジュツ たま タマ 劍 ケン

術の達人 タツジン 劍術 ケンジュツ 達人 タツジン あなた アナタ どり ドリ げ ゲ に ニ

り リ り リ 無手勝流 ムテカチリユ 答 コタ へ ヘ スル スル と ト

やかくと ヤカク 問答 モンダウ の ノ 末 スエ 其 ソノ の ノ 邊 ヘン 其 ソノ の ノ 邊 ヘン 其 ソノ の ノ 邊 ヘン

島 シマ 勝 シヨウ 負 ブ 先 マ づ ヅ 打 ウチ 笑 ワラ ひ ヒ あ ア せ セ

ましたり シアゲタ 沖 ホキ 打 ウチ 笑 ワラ ひ ヒ あ ア せ セ

る ハヤク せん セン す ス べ ベ も モ な ナ く ク て テ 急 イツ

尋常小學單級修身訓字解 三九

笑物ワラヒモノ

笑フメアテノモノ。ワラヒグサ。

第二十四課

公德コトドク

ヨノナカノミナノ人ニタイ

シテノヨキコ、ロダテ

次郎ジロ

思はず

知らず

菜畑バナ

菜ヲウエテ

を

りからチヨード

通りトホ

ていリサマ

次郎君ジロクン

次郎サントイ

フニオ

作物サクモノ

タヤハタケニウエテアルモノ

そこなふスルク

宜しヨロ

早ハヤ

く

始めてハジ

心づきキガ

第二十五課

大凡オホニヨソ

トザツ

遠孫エンソン

一人ノチスデヲヒイテハルカノチニウマレテキタ人

軍イクサ

發しハツ

處々シヨシヨ

ホー

打平ウチホ

大和ヤマト

宮ミヤ

位クラキ

給タマ

き

子孫シソン

一人ノチスデヲヒイテダイダイウチツバイテウマレテキタ人々

御位ミクラキ

二

月十一日ユヱなりし故アツタカラ

二月十一日

年々ネンネン

トシ

紀元節キゲンセツ

となへてナラツ

重オモき祝シヨクシツ日タイセツナ

イハヒ日

第二十六

課

萬マンのイノ

政マツリゴト

キミガジンミンヲトリシマルタメニスルコト

ほいとゝの

ひたりアラマシカ

御歴代ゴレキダイの御靈ミタマ

オタマシヒ

物モノい

み

ケガラハシイモノヲキラヒテミニツケスコト

まうけラヘ

式シキ

カタ。ギシキ。サホー。

今イマ國コク

内ナイ

クニノ

建國ケンコクの業ギョ

ルシゴト

成ナる

ガデア

ひとへ

にタ

皇祖コソノ

テシサマ

むねゴシユイ

うやく

しく

カシコマツテ。テイネイニ。

御供ガントモ

つらなれる

ナラン

臣下シンカ

イケラ **孝心** コーシン ノココロ そらろに涙をよよほしけり

ワレシラズ、シゼンニ ナミダグンデキタ。 **第二十七課** **國民の義務** コクミンノギムツ ミノツ

メト **不善人** フセシヤウイ人 **妨害** ホーガイ コナヒ。ソ **まぬかる** レノガ **あ**

んのん アンラクナコトナク、 **生活** セイワツ **をとぐる** イキテヲルコトヲ シハタス。イキト

ホ。 **おきて** シテハナラヌ又セネバナラ ス。 **おきてを重んじ** オキテヲタイセ

て ツニオモウテ **常に** ツネ イツモ **租税** ソウゼイ **ををさむる** ヲサム

シダス **べんずる** ハラヒカ **兵役に服する** へいやくニフク **たづさはる** アハリ **特に** ト

**國を守る** クニニナンギナコト **松島艦** マツシマカン **水兵** スイヘイ **忠勇** チウユウ

**第二十八課**

トリワケ。ベツシ テヒトキハ、 **清國** シンコク **軍** イクサ **黃海** コーカイ **兵士** へいし **忠勇** チウユウ

シヘイ **實に** ミツク **目ざまし** メガサメルヨニアアル。 **忠勇** チウユウ

ンキガヨイ **十餘箇所** ジウイヨカシヨ **面部** メンブ **息もたえぐ** イキ

なり 息ノキレカ、ツテキテ、マダキレハ **副艦長** フクカンチウ **目ざ**

二番ノ艦長ト **苦しき息の下より** クルシイイキヲシ **目ざ**

イフコ、ロ。 **す** ケル **否や** イナ **安心** アンシン **目をとぢぬ**

サイダフ **目をとぢぬ**

尋常小學 單級修身訓字解終

明治三十四年八月二十七日印刷  
同 三十四年八月三十一日發行

尋常小學單級修身訓字解

定價金八錢

金港堂書籍株式會社編輯

發行者兼印刷者

金港堂書籍株式會社  
東京市日本橋區本町三丁目十七番地

代表者

右社長 原亮一郎

不許複製

賣捌所

各府縣下特約販賣所



4  
127

明治三十五年十二月發行

高等國語讀本字解

女子用

上篇二

發兌 金港堂書籍株式會社

卷三

一丁 大和心 櫻花

ノサクラ

美をそへ

マスマスウツク

光を輝か

す 昔の人

本居宣長

敷島の

大和ト云ハンマク

朝日ににほふ

花ニラノ

サ日ガ...

山櫻花

振ひ

節義

ミサチト、タダ

己が

富強 國ガ

三丁 一家が

齊へて

一家ノ内チヨ

父祖

センヤ、

顯さん

輕毒

平常

行爲

素性法師

見渡せば

クナ...

こき交ぜ

こきは極キナリ、

春の錦

柳ノミドリヤ、櫻ノ赤キ色ガ、マツリテ、

紀友則

みよし野

大和ノ吉野山チイフ、み

山邊

雪かど

のみぞ云々

櫻ノ花ガマツ白ニサイテ居テ、雪ガフツタ

三丁

紀貫之

宿りし

て

寐たる

夢の中に

ユメノウチニモ、サクラノ花ノ散ルチ

シムコ 櫻狩 山野ニ櫻ヲタツネ  
花ヲ見歩クコト、  
雨はふり來ぬ 雨ガフツ  
テ來タ、  
同じくは ドウセ雨  
テ

キタカ「ニツドリ」 濡るとも 雨ニヌレ  
花の陰云々 フカク花ヲ愛  
スル心ナリ、  
赤染衛門 アカゾメ  
エモ

踏めば惜し 散ツテ居ル花ヲフン  
テ行ケバチシイ、  
踏まては フンテ行カ  
ナクテハ、  
行かん方もなし

向フへ行クコト 心づくし 思ヒチツク「氣ヲモ」  
サセル、  
「マセル」  
かな 感嘆ノコト  
向島 貫き

隅田川 吾妻橋 木母寺 三圍 牛島 待乳山 浅草観音

五重の塔 四丁 長命寺 白髭社 路を挟みて枝を交へ 路チ  
シテ兩方カラ枝ガノビ出  
デテ上チオホフコト、  
日覆ひ 日ヨ○日光チサヘギルタメニ  
布ナドチサオホフモノ、  
閑靜 カナル、  
雑沓の巷

人ノコミ合 好時節 善キ  
在原業平 東下 東國ヘ旅行ス  
嘴 群れ 渡守  
タラ

シ場ノセ 都鳥 海ニ近イ河水ニ住ミ、カラダシユ  
シド、  
白ク、グチバシト足ト赤イ鳥ナリ、  
吾思ふ人 フガオモ  
ヒト  
ワガコヒシク思  
テ

名ニフサバ いざ 俗言ノさあト云フニ同シ  
シクバ、  
吾思ふ人  
フミヤコノ人、  
古跡

昔コトノ有ツタメ 比較 クラベテ見  
メ名ガカイ所、  
花辨 花ビ  
互に相下らず マサリオトリ  
ノナイコト、  
全體

ソータ 京畿 京都モヨリ  
概ね イ、タイガ  
短小 タケガ、ヒクク  
箱根以東 箱根山ヨリ東  
ノクニ、  
据ゑ

噴水 水チタカク吹キ上  
ゲルシカケ、  
碑 石ヘ、コトガラチホ  
銅像 昔ノ名ガカイ人ノスガタチ、ア  
カガネテ、イ作ツタモノ、  
全體

六丁 眺め 緑の葉 草木ノ青々ト  
眞白 七丁 立派 立札 全體

不道理 道理ニハツ  
垣根 八丁 岡山 高松 金澤 仙臺

陸前 水戸 常陸 上野 不忍の池 丘 常磐木 東

照宮 徳川家康チマ 博物館 西郷隆盛 九段 大半 見下す

九丁 靖國神社 別格官幣社 芝 浅草 飛鳥

山折々 保養 心チナグサメ、目チタノシ  
マセルコトナドチイフ、  
東京灣 關東平野 相模武蔵下總常陸ノ  
四國ニマダガリ北ノ

方上野下野ニツツキタ、  
ル廣大ナル平地ノ名、  
沃土 善キ地、  
麴町 神田 日本橋 京橋 芝 麻布

高等國語讀本女子用上篇字解

赤坂	四谷	牛込	小石川	本郷	下谷	浅草	本所	深
川	首府	英吉利	北京	大都府	議院	新橋	萬	宮
城	聳え	周邊	諸官衙	公園	新橋	萬		
府廳	博物館	寺院	公園	新橋	萬			
世橋	大通	浅草橋	二條	本町通	馬喰町通	御成		
道	本郷追分	内藤新宿町	品川町	起點	諸線			
縦横に	蜘蛛懸る	煉瓦造	魚鱗を並べたる					
武藏野	占め	草むら生茂り						
散點	上杉氏の臣太田持資	故址	増築					
奉還	ついて	上杉定正	武					

州	鷹狩	興して	興して	興して	興して	興して	興して	興して
掛	潮満ち	射かけ	干なば	干瀉	押通	仕		
らん	僉議	いざさらば	間もなく	間もなく	間もなく	間もなく		
るみ	瀆千鳥	なく音	沖	依				
て	軍勢	果して	事なく	走せ	利根川			
渉さん	浅瀬	底ひなき淵	波音	道灌	小式部内			
侍	百人一首	大江	山	いく野				

高等國語讀本女子用上篇字解

いく野トイフ地ノ名チ、行ク  
トイフコトニカケテイフ

天のはし立丹波ノ國ニアリテ、日本三景ノ一ツナリ、

詠み

和泉守

橋道貞

和泉式部

幼より

トシワカキ

上手

當意即妙

誉

歌合

優劣

判す

ありつるを

十五

禁中

そなはり

をりふし

中納言定頼卿名

局

いかげさせ給ふぞ

遣

はされ

心もとなく思すらん

戯れ

簾より

半出でて

小式部内侍ノコロニハ、女子ハ、ミスノ中ニカクレンキテ、アラハニ、カタチアラハサヌ、フーヅクデアツタ、

わづかに

ロクトイフ

直衣

ヒタタレトイフ、衣服ニニタルモノニテ、ガホヤケノトコロへ出ルニ、キル衣裳ナリ、

ひかへて

こはいか

にと

返歌

放ち

能因法師

シユツケノ名

十六

旅の歌

霞と共に立ちしかど

春ノ日、カスミガ、タナビクコ  
ロ、シユツタツシタケレド、

秋風ぞ吹

く白河の關

白河ノ關へ、ツイタラ、ハヤ秋風ガフク、ツセツトナツタワイ

斯かる

奥州今ノ陸前、陸中、陸奥チイ

披露し

表の戸

留守の體

炎天

アツイ

曝せり

日數へにければ

面も瘦せ

さなから

感賞

物狂はしき所行

人目繁き

人がホホセイ、ミテキル

さこそは苦しかりけめ

眺め

名所舊跡

暑さ

紛れなめ

見飽ける

炙り

堪忍

藝道

凝らす

毎々

人

尋常の心

巧なる

長閑なる

變

寂しき

切にして

旅程

滞り

舟楫

楫ハ舟ノかぢナリ、舟ニハカナラズ、かぢアルユエ、舟ノコトヲ舟楫トイフナリ、

完からず

渡船

停め

徒渡り

アルイテ、ソ  
タルゴト、  
暮春 ボシユン ハルノ  
初秋 シロシヨ アキノハ  
形容 ケイヨ ヲリスチイヒア  
連絡 レンラク ツツク  
コト、

三陸 サンリク 陸前、陸中、  
朝に アサニ 大丁 ダイテイ 夕 ユフベ タ、  
ケレガ  
鹽竈 シホガマ 名、  
見聞 ケンブン する  
リ、

慰む ナグサ 形状 ケイシヨ 性質 セイシツ 形勢 ケイセイ 風土 フイ 土地ノ  
ヨリス、  
究 キウ

め 勿論 モチロン ナイコト、  
十五 ジュウゴ 記憶 キキョク にとまる  
心ニオボ  
エナル、  
據 ヨ らざるを

得ず エ レバナラヌト云フ意、  
徑 コミチ 行る ヤ ルカシム  
幅 ハバ 街道 カイド 東海道 トウカイ 武蔵  
ノ國

品川ヨリ相模ノ海岸ニソヒ伊豆ノ北部ヲトホリ、駿河、遠江ノ海濱ヨリ  
三河、尾張、伊勢、近江ヲスギ京都ニイタル、延長百三十二里十町餘、  
中山道 ナカセン 武蔵ノ板橋ヨリオコ  
リ、西北ニ向ヒテ浦

和テヘテ上野ニ入り信濃、美濃チヘテ近江ノ草  
津ニ至リ東海道ニ合ス、延長百三十二里二町、  
甲州街道 コウシユカイ 武蔵ノ高井戸ヨリオコリ、府中、八王子、  
相模ノ關野チヘテ甲斐ノ甲府ニイタル、

奥州街道 オウシユカイ 武蔵ノ千住ヨリオコリ、下野、磐城、岩代、陸中チヘテ  
陸奥ノ青森ニイタル、延長百八十九里十九町十間、  
伏見街道 フシ 京都ヨリ伏見  
ニ至ル道、

堺街道 サカイカイ 大阪ヨリ和泉ノ  
堺ニ至ル道、  
頻繁 ヒンバン シゲクコ  
軌道 キド 車輪ガハマツ  
テ走ルミチ、  
敷設 フセツ キシ

浦和 ウラ 碓氷峠 ウスヒツ 上野ト信濃トノサカ  
ヒニアルタフゲ、  
宇都宮 ウツノミヤ 盛岡 モリヲカ 小樽 オソヅル 札幌 サツポロ

岩見澤 イハミザ 和寒 ワサム 室蘭 モロラン 參宮鐵道 サンケイテツド 皇太神宮ノ社ヘサンケイニスル  
者ノタメニ設ケタル鐵道、  
甲武鐵 コウブテツ

道 ミチ 甲州ト武蔵トノ間  
ニ通ズル鐵道、  
總武鐵道 ソウブテツド 武蔵ト下總トノ間  
ニ通ズル鐵道、  
枚舉 マイキョ に違 イタマ あらず  
一枚舉トハ

里程 リテイ 駕籠 カゴ 人ノノルカゴ、  
旅費 リビ 用金、  
迅速 ジンソク 早イ、  
メテ

往復 オウフク 遅緩 チカン 均しき 同シ、  
迅速 ジンソク 早イ、  
メテ

水運 スイウン 送スル、  
低價 テイカ イ、  
運賃 ウンチン 運送スルチ  
運賃 ウンチン 運送スルチ

帆船 フネ 帆前船 ホマヘセン 極遠 キョクエン 通船 ツウセン 如くは

西國筋 サイコクジン 京都大阪ヨリ西  
國々チイフ、  
瀬戸内海 セトウチウミ オヨホソ山陽道ト四國ト  
ノ間ニアル内海ノ名、  
馬關 バカン

玄海灘 ゲンカイナガ 九州ノ北方ニヨコタ  
タルオキアヒノ名、  
釜山仁川 フサンニムン 天津 テンシン 露西亞 ロシヤ

上海 シヤンハイ 香港 ホンコン 歐羅巴 ヨウロウパ 航路 カウロ 萩濱 オキノハマ 陸前ノ國ノ東海  
岸ニアル地、

領 リョウ ノ領分、  
上海 シヤンハイ 香港 ホンコン 歐羅巴 ヨウロウパ 航路 カウロ 萩濱 オキノハマ 陸前ノ國ノ東海  
岸ニアル地、  
米國 ベイコク あめり  
カ國、  
丘陵 キョウリョウ

高等國語讀本女子用上篇字解

イ山、山 <small>コダカ</small>	淀川 <small>ヨドガハ</small>	末流 <small>ハツリ</small>	數派 <small>スハ</small>	安治・木津・神崎 <small>アヂキツカニ</small>
長柄 <small>ナガテ</small>	溝梁 <small>コウリョウ</small>	縦横 <small>シュウヨウ</small>	架け <small>カ</small>	八百八橋 <small>ヤハヤハシ</small>
堺筋・心齋橋筋・道頓堀・高麗橋筋 <small>サカヒスチシサイバシスチドウトンホリコウライバシスチ</small>	物價の變動 <small>モノカヘノドウ</small>	商況 <small>ショウキョウ</small>	取引高 <small>トリヒキダカ</small>	壯大 <small>ソウダイ</small>
造幣局 <small>ゾウヘイキョク</small>	著名 <small>チヨウメイ</small>	紡績 <small>ホウセキ</small>	工場 <small>コウジョウ</small>	製鐵所 <small>セイテツジョ</small>
中之島公園 <small>ナカノシマコウエン</small>	風致に富み <small>フウシチニトモ</small>	天滿神社・豐國神社・高津神社・天王寺 <small>テンマンジンジャトヨクニジンジャコウツジンジャテンノウジ</small>	遊覽 <small>ユウラン</small>	烟 <small>エン</small>
適へり <small>カナ</small>	著き <small>ツキ</small>	訛りて <small>マヤカ</small>	管轄 <small>カンカツ</small>	北端 <small>ホクタン</small>
本願寺 <small>ホンガンジ</small>	遺趾 <small>イシ</small>	土木を興し <small>ドボクヲオコ</small>	宏壯 <small>コウソウ</small>	兵營 <small>ヘイエイ</small>
己を利し <small>オノレヲリ</small>	他 <small>タ</small> の用 <small>ヨウ</small>	繁昌 <small>ハンショウ</small>	満足 <small>マンゾク</small>	

田縞 <small>ダシマ</small>	江州 <small>コウシユ</small>	長濱縮緬 <small>ナガハマチリメン</small>	中心 <small>チュウシン</small>	信州 <small>シンシュウ</small>
前橋・高崎 <small>マヘバシタカサキ</small>	市場 <small>イチバ</small>	例へば <small>レイヘバ</small>	河内木綿 <small>カハチモノ</small>	小賣店 <small>コウリミセ</small>
集散 <small>シユサン</small>	水陸 <small>スイリク</small>	交通自由 <small>コウツウジユウ</small>	保存 <small>ホゾン</small>	細に分つべ <small>コマカニワカ</small>
貨幣 <small>カヘイ</small>	上古 <small>シヨウコ</small>	交易 <small>コウエキ</small>	何束 <small>ナニツク</small>	大抵 <small>タイライ</small>
同等 <small>ドウトウ</small>	輕便 <small>ケイベン</small>	必然の事なり <small>ヒツゼンノコトナリ</small>	代表 <small>ダイヒョウ</small>	望を遂ぐ <small>ノゾミヲツグ</small>
發行 <small>ハツコウ</small>	發行 <small>ハツコウ</small>	代表 <small>ダイヒョウ</small>	代表 <small>ダイヒョウ</small>	望を遂ぐ <small>ノゾミヲツグ</small>
預り手形 <small>アツカテ</small>	預り手形 <small>アツカテ</small>	預り手形 <small>アツカテ</small>	預り手形 <small>アツカテ</small>	預り手形 <small>アツカテ</small>
最初 <small>サイショ</small>	各開港場 <small>カクカイコウバ</small>	通用 <small>ツウヨウ</small>	一般 <small>イツパン</small>	改革 <small>カイカク</small>

高等國語讀本女子用上篇字解

補助貨

白銅貨

白銅ハ銅ニツけるトイフ金  
チアハセテ作ッタ合金ナリ

青銅貨

青銅ハ銅ニすットイフ金チ  
アハセテ作ッタ合金ナリ

美

立チマサリテ品  
ノヨキコト

三條通

寺町通

前後相接す  
前ノ人トアトノ人トガ、グッ  
キ合フホドコミ合フコト

近郊

近キノ  
東山

大堰川

嵐山

勝地

疏水の大工事

地チホリ又ハ山ニトンネルチ  
ホリテ水ヲ通ズル大アシン

原動力

水車チウゴカスカ  
トナル水チイフ

精巧

手ギハノミゴ  
トナルコト

模擬

京染

染術

物

練りたる

加茂川染

練絹

生絹

薄紙

倭錦

綴錦・金欄

縺子地

堅地

縹絲

綴錦・金欄

縺子地

練絹

生絹

縮ます

御召縮緬

八丈絹

博多織

縮緬

縮緬

御召縮緬

八丈絹

博多織

縮緬

南部紬

海氣織

郡内

紹

縮緬

透綾

越後縮

真岡

松阪

二

奈良晒

越後縮

真岡

松阪

二

最たり

奈良晒

越後縮

真岡

松阪

摩上布

川越

八王子

紋羽織

小倉織

子織・唐棧

川越

八王子

紋羽織

小倉織

麻

羅紗

御面倒

藍鼠地

三所紋

定紋

雛形

水濕

刺觸に備へ

容儀

を整ふ

シクスルコト

材料

體温

濕氣

高等國語讀本女子用上篇字解



夏ノ一パンアツ  
イ時チイフ  
著用 **三丁** 紺暗色  
ドスアロ  
褐色  
反射

カヘス  
臭氣  
ホビ  
傳染病  
マツリヤ  
吸収  
スヒコム  
鮮明なる色

ハツキリトシタル  
ウス色チイフ  
反對  
ラウラハ  
調製  
ルコシラヘ  
外形  
ミエソ  
装はん

ザルチ  
利害  
害メニナルト  
洗濯  
**三丁** 垢  
夜具蒲團  
**三丁** 消

滅  
ケシ無ク  
日向水  
日向ニオキテ、ヌルマ  
さいかち  
中ノミハ、白豆ニ似テ平タケ光

リアルモ  
ノナリ  
浸し  
灰汁  
洗濯石鹼  
洗ひソーダ  
アソグダハ、クスリノ名、物チ

丁寧  
干物  
時雨  
ヌアメ、  
急ぐ  
持続天皇  
第四十一代ノ  
天子サマ  
衣干し  
白

たへの  
ムカシ、かうザノ木チ、ホソクサイテ、オリタル布チたへトイヒタリ、たへの色

天のかく山  
大和ノ國ニア  
選擇  
コトラフ  
**四丁** 溶かす  
流行病  
ヤハ

媒  
傳染  
ツルコト、ウ  
天然  
鐵管  
グダ、  
導き  
安全  
ヨイブ、

人家稠密  
ヒトノイヘガ、  
汚物  
モノナイ  
心して  
ケテ、  
**四丁** 砂濾

し  
塵埃  
コリ、  
泥土  
チ、ドロツ  
浮游  
イテナルコト、  
濁  
消炭  
層

日を経る  
ツ、ヒガタ  
一層  
ハトキ  
慥  
煮沸かす  
疫病  
洗

水  
モノチアラ  
上毛野形名  
夫人  
タ、カガマツ  
舒明天皇  
第二十四  
代ノ天子

御宇  
キ、オント  
蝦夷  
ンパンシ  
叛き  
貢物  
マツルベキモノ、  
官軍

天皇ノ御ケ  
ンゼイ、  
**聖丁** 帥  
シヒキマハ  
智略たくましく  
チエガスガレ  
健げ

なる  
シイ、  
身方  
打負け  
籠り  
賊徒  
ドモ、  
逃れ

すべも無く  
テダテモ  
落失せんとせり  
ニゲテシマハ  
**四丁** 諫め

て  
輝かし  
猛き  
イ、  
かばかり  
コレホド  
祖先  
ゾ、  
墮し  
辱

遺す  
撃死  
醉伏さしめ  
サケニヨツテ、  
劍  
佩び  
オビ、  
押張り

侍女 コシモト 弓弦 ツユル やをら ソロ 覺し サマ 起ち上り アガ 鉾 ホコ

落留りたる軍兵 ヘイタイ 奮ひ戦ひ ニ、タタカフコト

崩れ **四** 武略にふれる ガアツタ、オカガ 兵制 メカダ 兵營 ノチ

大略 シアラマ 徵兵検査 ニカナフナイフ 合格 ケンサチサウケテ格 抽籤 キ、クジ 兵營 ノチ

軍役 トメ 現役 ヨビ 豫備役 コビ 後備役 コビ 事變 カハリゴト 召 シヨ

集 メシアツ 國民兵 コクミン 國家危急 バノチリナ云フ 服役 ムルコト 水 スイ

兵 服スルツノレイノ兵卒 火夫 軍艦内ニアリテ石炭ヲタ 歩兵 カチダチ 騎兵 ニ

砲兵 大砲ヲアツ 工兵 ダイバチキツキ、橋チカケ、道路チサメ 輜重兵 シチヨ

職務 メ、ヤク **四** 併セ イチ 一聯隊 イチ 一旅 イチ

團 近衛師團ノ外十二箇云々 近衛師團(本郷、宇都宮、佐倉、水戸)第一師團(麻布、横濱、高崎、長野)第二師團(仙臺、福島、新發田、柏)

部 時第三師團(名古屋、津、豊橋、静岡)第四師團(大阪、和歌山、大津、京都)第五師團(函館、旭川、釧路)第八師團(弘前、鳥取)第十一師團(香川、徳島、愛媛、高知)第十二師團(小倉、大分、福岡、佐賀) 司令 シレイ

將官 シヨウカン 佐官 サカン 上長官 ジョウチョウカン 尉官 イカン 士官 シカン 准士官 ジュンシカン 補し ホ

卷四

**一** 恰も アダカ 容貌 ヨウボウ 長所 チョウショ 勝り マサ 短所 タンショ 劣 オト

能不能 イ、フ 責む セ すてんには ラバ、タナ 工匠 コウシヨウ 聊 イサ、カ

**二** 朽ちたる クサツ 梁 ハシ 不相當 フツウトウ 一部分 イチブフン 分業 ブンギョウ

手斧 テウナ 揮ひ フル 鑿 ノミ 述べ ノト 忙しき イッガ 煩はしき ワラ

縫物 ヌヒモノ 手業 テウザ **三** 臺所 ダイドコロ 削り畢らず ケツ あま

つさへ ナホソノ 凸凹 トツオウ 鋸 ノコギリ 平 タヒラ 鉋 カンナ 刃 ハ 指先 ユビサキ 硬ばり コバ

高等國語讀本女子用上篇字解

竈	焦げ	半熟	初め	旨からず	片袖	白縞	皺手
垢	最中	四丁	寸法	雛形	等閑	煮焼	嚴重
ケル、マ	熟練	活計	虚弱	全快	遅速	疾病	罹る
良醫	治療	託す	介抱	ゆだねらる	五丁	周密なる	看
護	忽にすべからざる	習慣	常を失ふ	徐に	撫で	摩る	苦惱
注意	ドコカラ、ドコマデモ、ユキトドイタ、ココロゾクケ、	習慣	介抱	ゆだねらる	五丁	周密なる	看
情	様子	些細の事	常を失ふ	徐に	撫で	摩る	苦惱
和げ	服薬	平癒	徐に	撫で	摩る	苦惱	苦惱
六丁	粗き	音調	談話	開閉	假初	睡眠	御頭痛
眠	乏し	高尙なる	不順	困り	御頭痛	御頭痛	御頭痛

氣	こもりがち	御案じ	容子	七丁	折角	新
り	萬能の本	病弱	研く	身體	髮膚之	新
を父母に受く敢て毀傷せざるは孝の始なり	カラ受ケタル者アレバ、之ヲソコナヒキズツケズニ、一生ヲチナルガ親孝行ノハジメデアルト云フコト、	大要	適宜	疾病	マヤ	マヤ
睡眠	制限	多食多飲	多食多飲	疾病	マヤ	マヤ
汗	八丁	皮膚	厭ひ	沐浴	血液	病患
循環	消化	筋骨	爽快にす	湧出づる	九丁	病患
疲勞	癒さざる	腦の作用	湧出づる	九丁	病患	病患
温か	鹹き	澁き	濁れる	湯治	癒ゆ	煩累
湯本村	箱根七湯	七湯トハ湯本、宮下、塔澤、蘆、堂カ島、氣賀、底倉ナリ	幽清	幽清	ラカナルコト、	ラカナルコト、

難所 ナニシヨ ケハシキ處  
要害 ヨウガイ 我ニハ肝要ニシテ敵ニハ害トナ  
關所 セキシヨ 番所ヲ置キテ往來ノ人  
頂 チヨウ

上鏡 ジョウキョウ 湖底 コテ 湖水ノ  
連山 レンサン ルツツキタ  
濃淡互に紋を成し ノリタンタカヒ

止めず トメズ 猶サヘツリテ居ル  
蟬 セミ 笙を奏す ショウソウ 蟬ガナクニ  
琴を調ふ コト 曾我 ソウガ  
遺物 イブツ

十郎祐成同五郎時致 シウロウスケナリオナシクゴロトキムネ  
熱海の温泉 アタミ 上野の伊香保 カウツケ 攝津の有馬 セツツ 伊豫 イヨ

の道後 ノミチゴ 硫黄 イオウ 手拭 テスグヒ 虚弱 キョジャク 大効 ダイコウ 腐敗 フバイ

是非 ゼヒ 鹽漬 シホヅケ 塊り カタマ 碎き クダ 湧出す ワキダ 煮詰め ニツ 四面 シメン

十州 シウシウ 周圍 シュウイ 鹽田 エンデン 海ノホチクミイレテ、日ニカワカシ、カ  
鹽氣 シホケ 山脈 サンミヤク 山ノツ ツ 除ける ヨ 水蒸氣 スイジヨウキ 冷 ヒヤ

追々 オヒ 産額 サンガク 山口縣 ヤマガタケン 長門、  
香川縣 カガケン 讃岐、  
兵庫縣 ヒョウゴケン 但馬、播磨、淡路

され サレ 時分 ジブン 乾いた カワ 分量 ブンリョウ 蒸發 シヨトハツ ネットニムサレテ、ケムリノヨ  
赤穂鹽 アカホ 眞に マコト 調理 チヨウリ へ方、  
滋味 シ アヂ、  
硬き コハ 軟 ヤハラ

かにす カニ 冷に過ぎ レイ ヒエスギ  
妨ぐ サマタ 適度 テキド ナフコト、  
熟煮 ジュク

嫌ひ キライ 食慾を進め シヨクヨク 食ヒタイト思フ心  
嗜好 シヨウ ノスキヨ  
煮上げたる ニ 旨し ウマ 味醂 ミリン 好き ヨ 加 カ

減 ゲン 易きに似て實は云々 ヤサシイヨトダケレド、ソノ 裝飾 ソウジヨク カザリ 格別 カクベツ

立派ならぬ リツパ 構造 コウゾウ 作りカ  
壯麗 ソウレイ 立派ナル  
品よく ヒン 手輕 テガル

置物 オキモノ トコノマニカ  
生花 イケバナ 料紙 リョウシ 短冊、色紙ノ  
相犯す アヒオカ 重り合ふ カサナ 幅 フク

掛物イフ、牡丹ボタン、芍薬シャクヤク、赤地アカヂ、挿すササ、趣を成してオモムキ

十九ジウジュ、漢畫カンガ、紫檀シタン、倭畫ヤマトエ、相ソウ

應オウ、一對イツツイ、差合サシアヒ、燈籠を點じトイロニアカリ、美術ビジュツ、伐りキ、紡ぎツム、礦石コウシ

二十ジウニ、需用品シユヨウヒン、特殊トクシユ、伊萬里燒イマンリヤキ、九谷燒クダニヤキ

煉瓦レンガ、桐生キリフ、羽後ノ能代ウゴノノシロ、輪ワ

薩摩燒サツマヤキ、津輕ツルギ、繪畫エ、彫刻チョウコク、妙ミョウ

島シマ、若狹ノ小濱ワカサハノコハマ、綿絲紡績ワタシボセキ、繪畫エ、彫刻チョウコク、妙ミョウ

津輕ツルギ、若狹ノ小濱ワカサハノコハマ、綿絲紡績ワタシボセキ、繪畫エ、彫刻チョウコク、妙ミョウ

若狹ノ小濱ワカサハノコハマ、綿絲紡績ワタシボセキ、繪畫エ、彫刻チョウコク、妙ミョウ

綿絲紡績ワタシボセキ、繪畫エ、彫刻チョウコク、妙ミョウ

繪畫エ、彫刻チョウコク、妙ミョウ

技ギ、實用シユウヨウ、堅牢ケンロウ、恰好カウコウ、悦ばしむヨロコ、進歩シンポ

諸モロ、漆器シツキ、箸箱ハシバコ、重箱シユウバコ、鏡臺キョウダイ

比類ヒライ、能登の輪島ノトノワジマ、津輕ツルギ、能代ノシロ、春慶ハルケイ、塗師ヌシ

屋木ヤキ、貼付けハリツツ、砥石トイシ、磨きト、金粉キンブン、梨地ナシヂ、山水サンスイ

平蒔繪ヒラマキエ、高蒔繪タカマキエ、優等ユウトウ、夙ソク、賞賛ショウサン

刑部オサカベ、青貝アヲガヒ、優等ユウトウ、夙ソク、賞賛ショウサン

箕面ミノ、東福寺トウフクジ、通天橋ツウテンキョウ、高雄タカ、梅尾トコノメ

嵐山アラシヤマ、指を屈すユビヲクツ、龍田川リウテンガハ

手向山タムケヤマ、神崎カンザキ、伊丹イタミ、池田イケダ、阪鶴鐵道ハンカクテツドウ

二十四ジウシヨウ、攝州豐能郡セツシユウトヨノコホリ、神崎カンザキ、伊丹イタミ、池田イケダ、阪鶴鐵道ハンカクテツドウ

高等國語讀本女子用上篇字解

大阪下丹波ノ舞鶴ト  
ノ間ニ通ズル鐵道ト

爰 爪先上り

村道 村へ通フベキセ  
マキ道ヲ云フ

橙 生干 土

産 地勢 土地ノア  
リサマ

龍安寺

白雉 今ヨリ凡ソ千三百  
年前ノ年號ナリ

役行者 名ダカイ  
僧ノ名

開

基 初メテ寺チヒラ  
キオコスコト

辨天

古像 フルキモク  
ゾリ

安置

クコトヘオ(佛像ナドニ限リ)  
テイフコトバ

竹生

島 琵琶湖ノ中ニアリテ島ノ  
中ニ辨財天ノ祠アリ

江ノ島

相模ノ國鎌倉郡ノ海中ニアリ、  
島ノ中ニ辨財天ノ祠アリ

三五

切岸 ケガ

峙ち 樹立

チナラアチ云フ

年古りたる

長キ年ヲヘ  
タルモノ

蟠り 曲リケネ  
リ居ルサ

色深く

響き

木の實

山路

飽かず

イデナ

谷

窮り 谷ノ盡クル

絶壁 岩ガケ

山姫の布を晒す

此レハ瀧チヨミタル古歌ノ句ヲ取  
リテ云フナリ、スナハチ山ニ神女

異様

サマニ、(メツラ  
シキカ

洞庭

那支

譬へん方なし

物ニタトヘヨ  
ウガナイ

三六

規模

シクミ方、大小  
ニツキテ云フ

洞庭

瀟湘の八景

瀟湘ノ夜雨、江天ノ暮雪、洞庭ノ秋月、遠寺ノ晚鐘、平沙ノ落雁、遠浦ノ歸帆、山市ノ晴嵐、漁村ノ夕照是ナリ

唐崎の夜雨、比良の暮雪

石山の秋月

三井の

晚鐘 晚鐘トハ夕方ノカ  
ネノオトヂイフ

堅田の落雁

落雁トハ空ヨリトビ  
ガリル雁チ云フ

矢橋の歸帆

歸帆ト

粟津の晴嵐

晴嵐トハモヤノハレ  
タル景色チイフ

勢多の夕照

夕照トハ夕方ニ夕日  
ノテラス景色チイフ

草津

大津

架けたる

簀え

麗し

今

井兼平

木曾義仲ノ臣ニシ  
テ強キ武者ナリ

馬場停車場

山手

俳諧師芭蕉

堂宇

隧道

薩摩守忠度

さゝ波や

比叡山

比稀

滋賀

昔ながらの

詠み

比叡山

比稀

ナル 春霞

おぼろに

比良岳

三九

晚けれ

ば 観音堂

大溝

中江藤樹先生

高島郡小川村

素讀

味

數遍

諳誦

訓誡

貼

り **力め** **大洲侯** **葬らん** **三丁** **事故** **上**

**書** **藩侯** **念ふ** **侍養** **遺物** **佛書**

云フ、 **隣里** **感化** **遺物** **夜戸を鎖さ**

ハる **飛脚** **三丁** **榎木驛** **馬夫**

マゴ、馬チ **河原市** **鞍** **下さん** **遺れたる** **金囊** **罪妻子**

にまでも及ばん **履** **恭謙** **酬い** **感歎**

も犯し難き **親を喪す** **三丁** **玉林寺** **涕泣** **萬夫**

**柩** **親を喪す** **藤樹書院** **禮服** **那**

**珂通高** **精力** **家居平常** **諸般の事**

**經驗** **己に克つ** **往くとして**

**三丁** **委しく** **人品** **史傳** **書册** **香壤の差**

**三丁** **受業** **著目** **所謂** **蛙鳴蟬**

**噪** **等しく** **種痘** **寛政** **外科醫**

**三丁** **村女** **診察** **三丁** **疱瘡** **痘瘡** **嘲**

**り** **今後** **放逐** **嚇し** **解剖家**

**三丁** **累れ** **二十三案** **西曆** **富豪**

**妖術** **衆口實を誣ふる** **創め** **種痘** **吼ゆる**

**三丁** **伯爵夫人** **狡猾** **遺法** **育**

**三丁** **伯爵夫人** **狡猾** **遺法** **育**

**三丁** **伯爵夫人** **狡猾** **遺法** **育**

**三丁** **伯爵夫人** **狡猾** **遺法** **育**

**三丁** **伯爵夫人** **狡猾** **遺法** **育**

兒 テルツダ	稚き ワカ	培養 バイヨイ	教養 キョウヨイ	賢不肖 ケンフシャウ
就き ツク	懇に ネンゴン	辨ふ ワキマ	輕暖 クイダン	汚れ目 ヨコ
常用 ジョウヨウ	薄著 ウスギ	四肢 シテア	誕生日 タンスジヨイ	粥飯 カユメシ
き アマリ、ツメタスギタリ、 アマリ、アツスギルコト、	割合 ワリアヒ	強健 キョウケン	遊嬉 ユキ	冷熱烈し レイネツハゲ
る ヨキホド	過不足 カフツツ	嚼み カ	傳 モリ、	婢 ヒ
傳 ツタヘルコト、	怪我 ケガ	椽側 エンガハ	石段 イシダン	接近 セツキン
キマ、 (ハヤ)	寢室 シム	各般 カクハン	調度 チヨウド	整頓 セイトン
混雜 コンザツ	觸るる フ	規則 キソク	馴れ ナ	方正なる事 ホウセイなるコト
一豊 カストヨ	安土 アツチ	商ふ アキナ	無雙の逸物 ムソウノイツモノ	山内 ヤマノウチ
惜しき イ	奉公 ホウコウ	御感 ミカン	獨言 ドコゴン	進らすべし マシマセ

音レン、カガミチ入 レルマロキハコ、	年頃 トシゴロ	悦び ヨロコ	恨めり ウラ	理りなれど コトハ
揃へ オホクノ武士ヲ馬ニノラ セテ、アツメ見ルギシキ、	四十二 ハル	遙々 ハル	浪人 ローニン	面目 メンボク
嗜み チヨキ	貯金 カネチタメ	榮枯盛衰 エイコセイスイ	回 マク	豊 ホ
年 ユタカナ	凶年 キヨウネン	景氣 ケイキ	不時 トキナ	一旦 イツタン
寒 ウエ、コ	救助 キユジョウ	夫 ツレ	恥しき ハヅカ	若くはなし ワカシ
セニチイレ タ、カメ、	財布 サイフ	臥し フ	近來 キンライ	空手 カラテ
へば セイケン	制限額 セイゲンガク	添ふ ソフ	一元手 ヒトモト	臺紙 ダイカミ
鶴岡藩 ツルナカ	天明 テンメイ	饑饉 キケン	南部、津 ナンブ、ツ	例 レイ
輕 ガル	餓死 ガシ	夥しく オビタ	辛くも カラカ	生殘れる イキノコ
餓死 ニ、	夥しく オビタ	辛くも カラカ	生殘れる イキノコ	遁れ ノカ
素 モト	遁れ ノカ	素 モト	遁れ ノカ	素 モト



より **優しき** 櫛・笄 持物 資 著替 **四五** 餘所に

見て ヨソノコトトシテ、カ 好き衣 ヨキキ 遂に 門口 兒 凍え 綿

入 哀れ 上著 涙 **四五** 慈善 努む 施與 ヒトニ、モノヲ

費さで ツカハナ 襦袢 前垂 胴著 筒袖 嬉し 且 跣足

はき古したる 下駄・草履・足袋 蓋し オホカ 生涯 弄び

て 髮掛 カミカケ 産を治む メイノノ業ヲ 保護 セム 権利 ケンリ 格別 政府

一國ノニイッ 産を治む メイノノ業ヲ 保護 セム 権利 ケンリ メイノノ業ヲ

**四五** 外務・内務・大藏・陸軍・海軍・司法・文部・農商

務・遞信の諸省 省トハ大ナル 内閣 三府 東京、大 區分 區ヲケナス

官廳 役所、 莫大 此ノ上モナク大キ 負擔 身ニ引キ受ケテ、 納税の義務 税租

上ノツトメ 法律 苦情 本分 本来ソツ **五五** 課する ルコト、 異議な

く コシヨリ申シ 立テヌコト

高等國語讀本 女子用上篇字解

高等國語讀本女子用上篇字解

明治三十五年十二月五日印刷  
明治三十五年十二月十日發行

女子國語讀本字解  
定價  
上篇一 金六錢  
中篇二 金六錢  
下篇三 金六錢

發行兼  
印刷者  
金港堂書籍株式會社  
東京市日本橋區本町三丁目十七番地

代表者  
右社長  
原亮一郎  
東京市下谷區龍泉寺町四百十四番地

印刷所  
帝國印刷株式會社  
東京市京橋區築地三丁目十五番地

賣捌所  
各府縣特約販賣所

不許複製

2N-21

◎試験やすみ 本社編輯 定價金拾貳錢

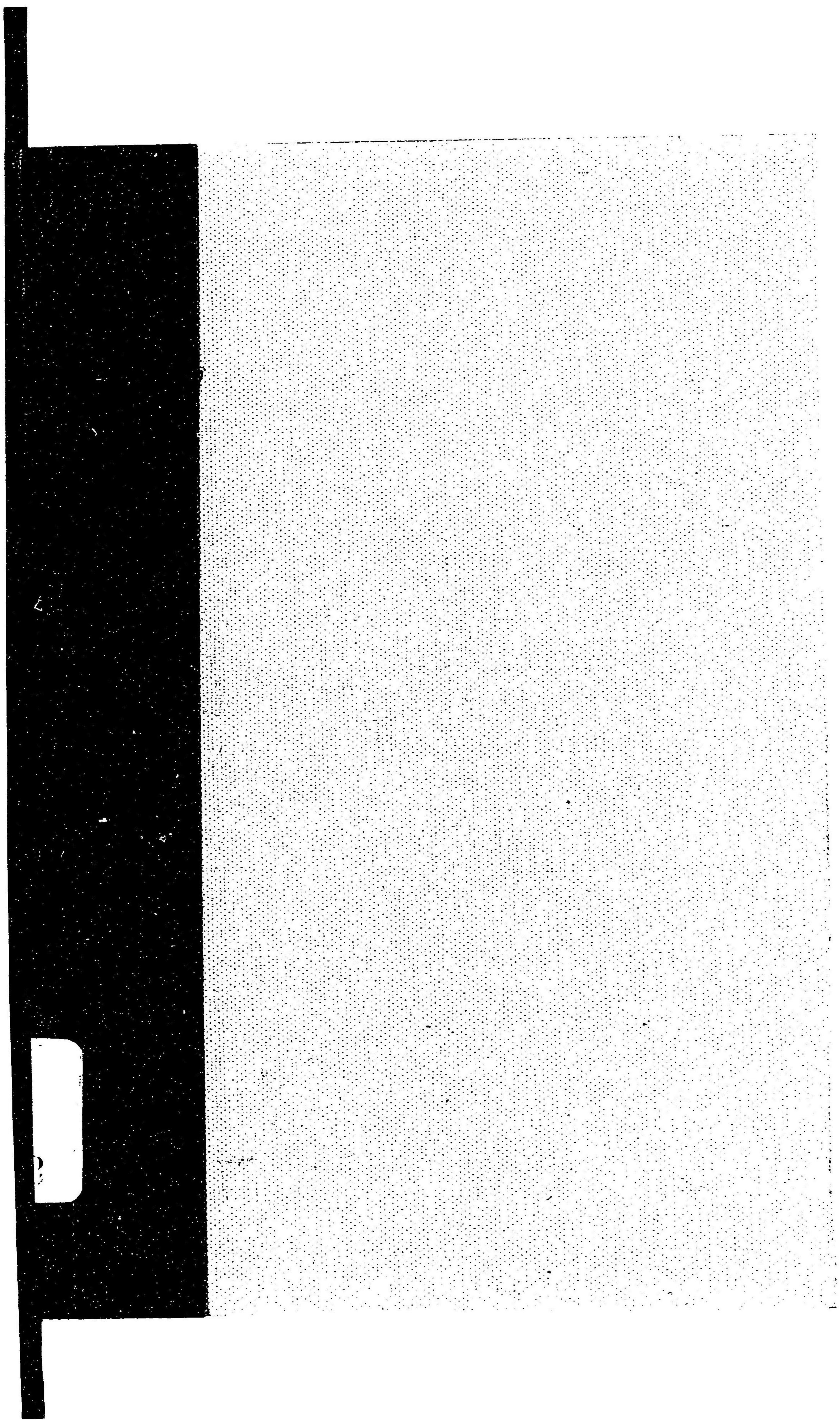
◎姉と弟 本社編輯 定價金拾貳錢

◎良家庭 本社編輯 定價金拾錢

◎菊水 本社編輯 定價金拾貳錢

◎國民の心得 竹涯生著 定價金拾八錢

◎拾圓紙幣の物語 吉田幾三郎氏著 定價金參拾錢



尋常  
小学 單級修身訓字解

高等 國語讀本字解 好用上篇 =

国立国会図書館

陸